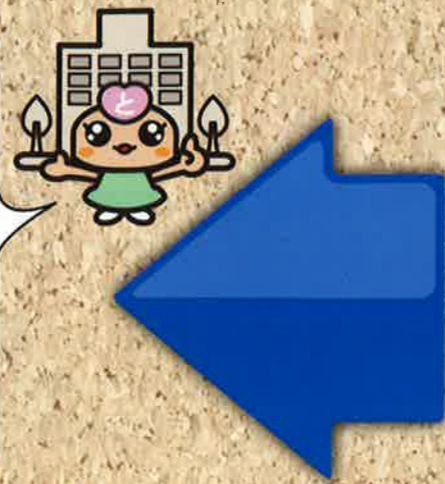


「人口減少・少子高齢社会による人口構成の変化」
 「施設更新時期の集中によって発生する多額の建替え費用」
 「限られた財源と、扶助費の増大等による財政需要の変化」

といった課題により、『今ある』施設を『今ある』場所で、
 『今ある』カタチ（規模）で保有し続けることが見直されているよ。
 これは全国の自治体共通の課題で、『**公共施設の更新問題**』*

と呼ばれているんだ。

※更新…施設を建替え・大規模改修すること



だから

必要な施設（サービス）を維持し、
 みんなの生活を支えるために、
 公共施設の再配置を行う必要があるんだね！



将来を見据えて『今』考えることで、
 みんなが住みやすいまちづくりにもつながるね！



質問4 施設の更新費用は確保できるの？

- 鳥取市の試算では、全ての施設を保有し続けるために必要な更新費用は、1年あたり約66億円（今後50年間の平均）です。現在の財政状況から考えると、全ての公共施設を更新する費用を確保していくことは難しいと考えています。
- 鳥取市では必要な施設（サービス）を維持するために再配置に取り組み、今後40年間で施設の約29%（延床面積基準）を縮減する目標を立てました。

質問5 市民や利用者の意見はどのように聞くの？

- 現在は、再配置の全体計画（方針）を検討している段階です。具体的な事業の検討や実施にあたっては、施設用途や規模に応じて、意見交換会や説明会を開催し、市民の皆さんや利用者の方々の意見を伺います。

再配置に向けた全体計画の策定

建物の建替時期が近づく

説明を実施
意見を伺う

事業計画(案)の検討

事業計画の確定

設計
工事

完成

(イメージ)

みんなの意見で
より良い施設を！



質問3 なぜ、今、再配置が必要なの？

- 「人口推計」、「公共施設の老朽化」及び「財政状況」の3点から、今から公共施設の再配置（経営）に取り組むことが必要と考えています。

●人口推計

鳥取市の人口は2005年をピークに減少に転じ、今後も減っていきます。



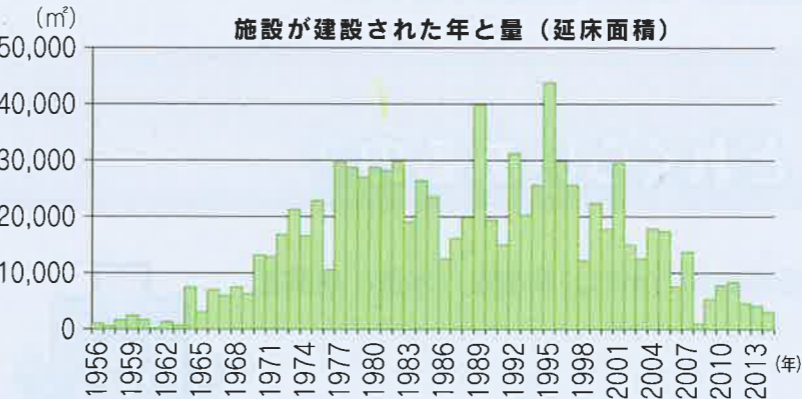
(鳥取市人口ビジョンより)

人口が減っていけば、施設利用者は減るよね。
 少子高齢化による年齢構成の変化で求められる施設も変わるし、将来を見据えて、施設のあり方を考えることが重要だよ。



●公共施設の老朽化

高度経済成長期以降、人口の増加にあわせるように、多くの公共施設を建設しており、それらの施設の老朽化が進んでいます。

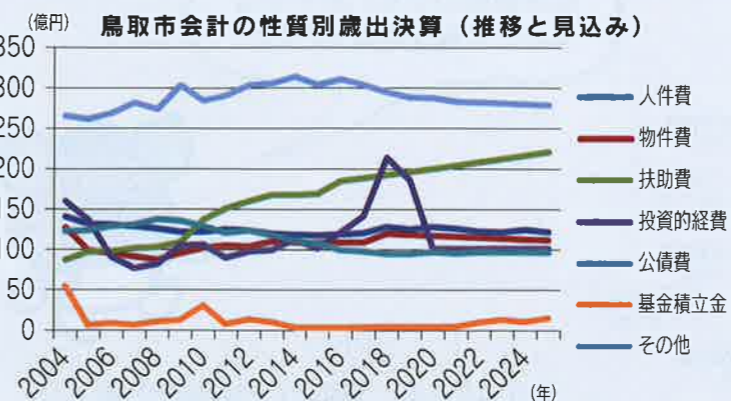


同じような時期に建設したから、建替え（更新）が必要となる時期も重なるってことか。
 ほっとくと危ないし…これから多額の更新費用が必要となりそうだね。



●財政状況

扶助費（社会福祉に要する経費）の割合が増え、公共施設の更新などに充てられる費用の確保が難しくなっています。



高齢化の影響もあって扶助費が増えているんだね。
 人口（特に生産年齢人口）の減少に伴って、税収入等が減るって聞いたし、財政状況は厳しいね。

